3705 Engineering Dr.
Peachtree Corners, GA 30092
Tel: 770-604-0007
www.internationalcharteracademy.org
info@internationalcharteracademy.org

DATE: July 24, 2023

TO: ICAGeorgia Families and Community

FROM: Robert N. Johnson, Board Chair

Re: ICAGeorgia 2023-2024

Dear ICAGEORGIA Families and Community:

いよいよ、2023-2024 学年度が始まりました。当校理事一同、学年度初めに当校の多くの成功例をみなさまへご紹介することから、新しい学年度を迎えられることを嬉しく思います。

成長−目前に迫った中学校設立について； 開校から 5 年（“パンデミック”の 2 年を含む）が経過し、今年度の児童数は過去最高の 220 名を見込んでいます。この素晴らしい成長過程と学校全体の実績により、来るジョージア州チャータースクール委員会(SCSC)とのチャーター契約更新（2024 年 6 月）に伴い、ICA ジョージアは 2024-2025 年度に中学校 6 年生クラスを増設する方向で進んでおります。

学業の成功と多様性について: ICA ジョージアは、ジョージア州で最も ESL 児童の割合（35%）が高い学校の１つです。日本語と英語のデュアルランゲージ・イマージョンスクールである当校は、日本語と日本文化がいかに世界中で大切にされているかを証明しています。当校には、過去最多のアジア系児童や、世界 25 カ国以上と親交のある児童が在籍し、ICA ジョージアの多様性の幅を広めています。その他、ICA ジョージアの重要な実績については、以下ご紹介いたします：

1. MAP テスト（Measure of Academic Progress）そしてジョージア・マイルストーンズ・アセスメント（GMAS）のスコアは、初年度から現在まで上昇を続けています。ジョージア州教育省によりますと、当校の全体の成績は 90%台に近い数字が発表されています。実際、GMAS の算数アセスメントでは、大半の児童が「上級」または「卓越」レベルの成績を収めました。これは、当校独自の算数教材である「日本式算数アプローチ」のおかげでもあります。

2. 当校は教員の定着率が高く、最も優秀な指導者・教師陣を雇用しています。

3. アフタースクール・プログラムでは、充実したプログラムを提供しております。高い評価を得ているダンス・プログラムも加わり、今後も新たな学習機会を模索し続けます。

4. 当校では、質の高い日本語と英語のカリキュラムを使用し、日本語習得目標の中で、リスニングとスピーキングでは、チャーター契約に沿った目標を達成しています。

5. 児童の学業成績を向上させる教員の専門知識を強化するため、教員へ専門学習プログラムを継続的に提供しています。

6. 餅つき大会、書初め、ヒスパニック・ヘリテージ・ウィーク、ブラック・ヒストリー月間、「世界の文化」プログラムなど、毎年ユニークな国際文化イベントを実施しています。

ICA ジョージア・コミュニティー活動及びコミュニティーサービスについて

1. 当校では、PTO と力を合わせ、思いやりのあるコミュニティーづくりに取り組んでいます。昨年度、PTO はいくつかのアクティビティーや遠足資金へ貢献しました。その一例として、PTO が主催した『子供の日祭り』は、資金集めに成功しただけでなく、当校コミュニティーと地元サポーターを結びつける素晴らしいイベントとなりました。

2. 昨年度、ICA ジョージアの児童そしてファミリーは、2 つのサービス・ラーニング・プロジェクトを通して、地域社会奉仕学習に貢献しました。また、スチューデント・リーダーシップ・チームはリーダーシップと寄付の重要性に関するクラスを受講しました。

3. 最後に、当校の児童たちをお祝いする『ダイニング・ウィズ・スカーラーズ（DWTS）』はファンドレイジング・イベントとして大成功を収めました。今年度、ICA ジョージアはコミュニティーサービスを通じて地元に貢献し始めて５年を迎えますが、特に、アトランタ総領事館の前田美緒総領事そして総領事館スタッフみなさまからのご支援に感謝いたします。また、これからもジョージア日米協会、ジョージア日本商工会議所、ジャパンフェスト・アトランタと協力し、日本文化プログラム作りを続け地域貢献を続けて参ります。

財務状況及び寄付金目標額 75,000 ドルについて：

ICA ジョージアの財政力と安定性を維持するため、不景気などの不測の事態に対処できるよう、十分な柔軟性を保つよう努めています。当校の収入源は、学校運営資金（QBE）、連邦政府の助成金・プログラム支援金、寄付金の 3 つがあります。

1. 2023 年度の QBE 州資金（児童数及び教員の資格と経験に基づく）は 2,651,100 ドルを受領し、ICA ジョージアの全収入の 89％を占めました。年度中間調整のため、QBE が州政府により増額され、当校は 356,000 ドルの一般会計黒字を実現することができました。そこで、献身的な全教職員一人一人へ計 2,000 ドルのボーナスを支給することができました。

2. タイトルワン、タイトルツー、タイトルフォー、スペシャル・エジュケーションなどの連邦資金は、ICA ジョージアの全収入 5%を占め、資格のあるファミリー数に基づき配分されています。

3. ICA ジョージアの全収入の 2%は、保護者、理事、地元サポーターから寄せられる寄付金です。2022-2023 学年度には、学校、理事、そして PTO による募金活動により、約 64,000 ドルの寄付金が集まりましたが、目標額 75,000 ドルには僅か届きませんでした。理事会主催『ギビング・チューズデー』、学校主催『ダイニング・ウィズ・ザ・スカラーズ』、PTO 主催『こどもの日祭り』などの募金活動イベントは、学校の財政をサポートするイベントとなりました。

州からの QBE 資金、州チャータースクール助成金プログラム、連邦政府からの助成金は、“基礎”教育費として割り当てられるものです。質の高い教育そして質の高い日英教材を購入し、質の高い教育を提供し、ベストな学業の成功へと導くためには、ファミリーのみなさまそして地元サポーターからの寄付金により可能となります。そこで、今年度行われるチャーター契約の更新、そして中学校設立を計画するにあたり、『ICA ジョージア年間パートナー・スポンサーシップ』プログラムを正式に導入いたします。プログラムの詳細は、別途資料をご参照ください。このプログラム導入により、私たちの資金調達目標である 75,000 ドルを上回ることができると確信しています。

みなさまのこれまでのご支援に感謝申し上げるとともに、本年も変わらぬご支援をお願いいたします。また、可能な限り多くの「パートナー・スポンサー」を受けられるようご協力をお願いいたします。お勤め先、ご家族・親戚、ご友人にもこのプログラムの内容を広めていただけますと幸いです。(https://www.mightycause.com/donate/Icageorgia から、いつでもご寄付いただけます。）

この場をお借りして、ICA ジョージア理事会一同を代表し、当校コミュニティー皆様の素晴らしいご支援に心より感謝申し上げます。イッショニ・ガンバリマショウ！

どうぞよろしくお願いいたします。

ロバート・N・ジョンソン
理事長
ICA ジョージア理事会